

## 七月の天象

### 太 陽

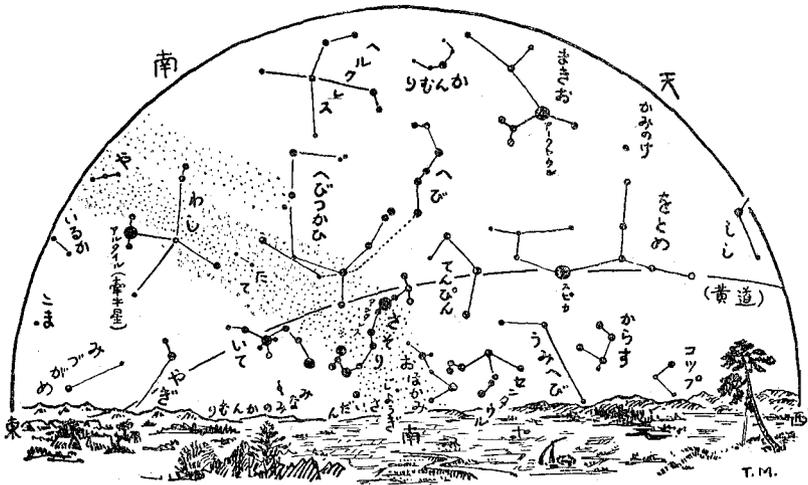
日	赤 經	赤 緯	視直径	星 座
1	6時38分48秒	北23度 9分	31分31秒	ふたご
11	7時15分50秒	北22度18分	31分31秒	ふたご
21	8時 0分19秒	北20度34分	31分32秒	か に
31	8時39分49秒	北18度24分	31分34秒	か に

月始めは巨蟹宮に在るも、23日よりは獅子宮に侵入する。3日に地球は遠日點を通過する。即ち、此の時の太陽視直径は31分30.8秒であつて、以後は次第に大きくなり、月末には31分34.0秒にまでなる。

### 月

月の相	時 刻	視直径	星 座
上 弦	3日午後 1時 3分 6秒	31分51秒	をとめ
満 月	11日午前 5時 1分 6秒	29分36秒	い て
下 弦	19日午前 8時29分12秒	30分30秒	う を
新 月	26日午前 5時41分51秒	33分23秒	か に
遠地點通過	13日午後10時36分	29分26秒	や ぎ
近地點通過	26日午後 7時 6分	33分24秒	か に

月の遊星歴訪としては、今月は10日午前9時に、土星に出合つて、其の南側を通り過ぎるのが始まりである。次は18日正午に天王星に出合つて、その南側をすれすれに通るのであるが、我國からは殆んど見られない。22日午前10時に火星と出合つて、その北側を通り、24日正午には木星に追ひ付いて、其の北側を通過する。更らに26日夜半に水星と出合ひ、北側を通る。又た28日午前3時には海王星を北側で追ひ越し、最後に29日午前2時に金星と出合つて、その北側3度の所を通過して、今月の遊星歴訪を終る。



### 七月の遊星界

**水星** 暁の星であるが、ぐんぐん順行して15日には太陽と外合となり、以後宵天に廻る。6日午前7時に木星と僅か24分(角)を距て、並ぶが太陽に近く観望困難。その位置は「ふたご」座ム星附近。

**金星** 宵の明星「かに」座東端より獅子座東端まで順行する。16日朝海王星と約1度離れて並ぶ。(金星は北側) 視直径は月始め14秒、月末16秒十日月の様な型であるが次第に半月型に近くなる。光度負3等半。

**地球** は3日に遠日點を通過する。太陽までの距離は一億五千二百萬軒。

**火星** 夜半後の出現。月始めに「ひつじ」座東端にあり、順行して月末には「うし」座アルデバラン星の北に在る。視直径は次第に増大し、月末5秒餘り。光度1等餘。

**木星** 暁の星であるが太陽に近く。月末になればよい。月末の位置は「ふたご」座の中央。光度負1等半。視直径30秒半。

**土星** 宵に東天に登る。1日に太陽と會合。其時の視直径16秒半。光度零等。地球からの距離は十三億五千萬軒。地球に最も近く、観望の好期

**天王星** 夜半に東天に登る。「うを」座にありて、21日の停留以後は逆行となる。視直径3秒餘り。光度6等。

**海王星** 宵の西空にあり。太陽に近く観望は甚だ困難。光度8等。

